



第1153号
2010年2月14日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇2月の代祷・信施奉献先

▽「信教の自由」を抑圧されて
いる人々のため(2・11に近い
主日)▽ハンセン病問題啓発の
日(大斎節前主日の1週前)▽
東京教区神学生のため(大斎節
第1主日)▽聖公会生野セン
ターため(3・1に近い主日)
▽ぶどうのいえのため▽平和を
実現するキリスト者ネットの働
きのため▽聖公会平和ネット
ワークのため

◆とこしえの平安

1月27日 久宗 庸子(77)

聖アンデレ

◇委員長人事(1月1日付、任
期11年12月31日) 「常設委
員会」 聖職養成Ⅱ吉松英美
「信仰と生活委員会」司祭宮
崎光 「正義と平和協議会」

司祭 前田良彦

▽ナザレ修女会《大斎黙想
会》 2月25日(木) 10時半聖
餐式(15時(夕)の礼拝・お茶)。
ナザレ修道院。講師・宇野徹主
教(元大阪教区主教)。携行Ⅱ祈
禱書・昼食。申込・照会Ⅲ 0
4 2 2 (4 8) 4 5 6 0。
▽信仰と生活委員会編(広報

今週・来週の予定

2月14日~27日

- 14(日) 大斎節前主日
- 15(月) 常置委員会
ハラスメント防止委員会
- 16(火) 月島・準備室
聖職養成委員会
- 17(水) 大斎始日
下町G大斎始日礼拝
下町G牧師協議会
- 18(木) 城南G牧師協議会
- 19(金) 礼拝音楽委員会
- 20(土) 「主教職について学ぶ」
第110(臨時)教区会
大斎節第1主日
モニカ会(神学院)
- 21(日) 銀座朝禱会
信仰と生活委員会
主教選挙特別委員会
- 23(火) 山手G牧師協議会
- 24(水) 教財務サービス委員会
- 25(木) 教役者聖餐式
財政委員会
- 26(金) 正義と平和協議会運営委員会
教区企画室

委員会・宣教主事協力)「大斎節
期間中に行われるプログラム一
覧」 各教会・礼拝堂掲示用と
して本主日14日に発行・配布さ
れ、HPに掲載する予定です。
一部の催事については小紙紙面
でも案内・掲載する予定です。
(ご参照・ご利用ください。
広報委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

司祭に按手されて10年目の、この3月
末で定年を迎えます。還暦過ぎた新米牧
師にとって毎週の説教は苦行でした。こ
の話をある牧師にしたら「僕は、説教で
苦労したことはない」という
返事で、以来愚痴を言うのは
止めました。妻は、「年も年
だから、3割バッターでいい
んじゃないの」と慰めてくれ
ましたが、「理屈っぽい」
「しびれるような感動がな
い」などの声も聞こえてきま
す。それでも、たまには耳元
に口を寄せて「よかったわ
よ」と囁いてくださる方もあ
ります。
総じて、皆さんにどのように聞いてい
ただいていたのか、未だに分明としませ
ん。ただ、確実に言えることは、私自身

《み手のなかで》

深く生きる

司祭 廣澤 敏 明

が説教準備を通して、少しはましな生き
方のできるようになったのかなというこ
とです。愛に生き切るなどはできません
が、説教準備はそういう自分を明らかに
します。丁度、ネジのように、わ
が身を捻りながらこの世界と人間
の深みに降りていく、「深く生き
る」とでも言えはいいのでしょうか。
ネジは深く入ることによって
安定してきます。信仰の喜びと
は、この安定感のことかもしれません。

これまで、忍耐強く聞いていた
だいた、殊に練馬の教会の皆さま
には感謝の言葉もあります。必
ずしも進んで選んだ道ではありません
せんでしたが、恵まれた10年でした。
ありがとうございました。
ありがとうございました。
(練馬聖方ブリエル教会協力牧師)

◇第110(臨時) 教区会開催
今週2月20日(土)、14時から聖餐式(主教座聖堂)をもって臨時教区会(聖アンデレホール)が開催される(議長・廣田勝一(管理主教)。月島聖公会・月島聖ルカ保育園関連の件が審議され、書記には李民洙司祭と卓志雄司祭が当たる。

信仰と生活委員会報告(1月28日)
*委員長並びに書記を互選。
*新規任命委員のため自己紹介。
*委員の担当を選任。
*前年度委員会より引き継いだ今年度の活動計画を確認・協議。
*大斎節プログラム情報を収集し、編集・配布する。
*その他。

公 示

日本聖公会東京教区第111(定期) 教区会を下記のように招集します。

救主降生2010年2月9日
日本聖公会東京教区
教区会議長
管理主教 ゼルババル廣田勝一

記

日時 2010年3月22日
(月・休)
午前9時から午後5時まで

場所 開会聖餐式
聖アンデレ主教座聖堂
議場 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。
司祭 ビード 李 民洙
司祭 ステバノ 卓 志雄

以上

◇「主教職について学ぶ」
教区主教選挙が行われる年にあたり、2月20日(土・臨時教区会開催日)、10時半から聖アンデレ主教座聖堂で東北教区前主教佐藤忠男師のお話を伺い、「主教職」について学びを深める。
(1月24日号3面に関連記事)。

▽下町教会グループ 《大斎始日・灰の水曜日の礼拝》 2月17日(水) 19時、神田キリスト教会。井口論司祭司式、上田憲明司祭説教。会場Ⅱ03(3251) 4981。

▽外濠教会グループ 《テゼの祈りと講演会「主教様ってどなた?」》 21日(日) 14時、目白聖公会。講師・竹内謙太郎司祭。講演後テゼの祈り。照会Ⅱ03(3811) 5836 幹事教会。

「クローズアップ」 39 ハラスメントのない教会に向けて

カタカナ語で恐縮ですが、一般的に「いやがらせ」だとか「ひどい仕打ち」などの意味で使われることが多い「ハラスメント」。東京教区にも、ハラスメントを「防止」する委員会が昨年発足、そして今年1月に相談窓口を開設しました。ひとくちに「ハラスメント」と言っても、意図的に悪意のある言動から、常識的な範疇と考えていたことが結果的に「ひどい仕打ち」として相手に伝わってしまった言動まで、その中味は万別ですが、「辛い」と感じる人がいる限り、それが「ハラスメント」なのかどうか、一緒に考えて

みましよう、という立場です。そうは言っても、たとえば尊敬している牧師先生や頼りになる会長さんが「ハラスメント」をしているとは考えたくないし、意図的ではなかったとしても、結果的に人に辛い思いをさせたとは、なかなか想像しにくいことです。さらには、どこまでが甘えや親近感で、どこからがハラスメントなのか、本当に区別のつきにくい灰色地帯が存在します。そして、そんな問題は昔は聞いたことがないと断言される方も、「寝た子」は起こさない方が平和だという立場もあることとは思います。

でも、嫌な目には誰も会いたくないものです。被害を受ける側にとって「防止」しなければ

ならないことは明白ですが、同時に知らないうちに加害者になってしまうことも「防止」しなければなりません。また「冤罪」(無実なのに、犯罪者にされること)も大きな問題です。これらの悲しい出来事を防ぐために、実は私たちひとりひとりが「知識」として知っていれば避けられることはたくさんあります。今年から、東京教区ハラスメント防止委員会は、各教会グループを回って、ワークショップを実施させていただきます。今は「ハラスメントなんてピンと来ない」と思っている方も、大切な人を守るために是非ご参加下さい。

東京教区ハラスメント防止委員会
司祭 上田 亜樹子